

2021年3月31日発行

第 112 号

エコ・リサ通信

特定非営利活動法人
埼玉エコ・リサイクル連絡会広報

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 交流集会 2021 報告

コロナによる緊急事態宣言を受け2月から順延し、令和3年3月13日(土)13:30~17:00、市民と行政がともに学ぶ「エコ・リサイクル交流集会2021」は、当事業のすべての関係者及び参加者をZOOMによるリモートにて開催しました。

来賓として埼玉県環境部 資源循環推進課 課長 佐々木亨様、公益社団法人日本青年会議所 関東地区 埼玉ブロック協議会 会長 石川哲也様にご挨拶を頂きました。

コロナ禍の古着回収、約一年を振り返って現状を報告

キムラセンイ(株) 佐藤正和

日本国内で回収された古着のほとんどは海外へ輸出されています。

輸出相手国は主にマレーシア。マレーシアへの輸出が総輸出量の半分以上になっています。

概ね海外への輸出が日本の繊維リサイクルを支えており、その中心にあるのがマレーシアです。

マレーシアにおいてコロナウイルスの感染予防策として政府が全土封鎖・ロックダウンを発令したのが2020年3月17日のことでした。

それから5月7日までの実に2ヶ月近く工場は操業できず、その2ヶ月間に届いた日本からの荷物が手付かずの状態です。港及び倉庫に滞留することになりました。

マレーシアがロックダウンした時期は、日本においてはちょうど春の衣替えのシーズン。例年、年間で最も古着が発生する時期でした。

何とか古着の排出量を減らしてもらえないだろうか? そう考えた私たちボロ業界は、全国組合である全国ウエイスト組合連合会、日本繊維屑輸出組合という2団体の連名で「春の衣替えに伴う衣類処分の延期ご協力をお願い」という文章を発行し、各お取引先様、関係する行政に対しご協力をお願い致しました。

テレビの取材を受けて、「家庭内備蓄」のご協力をお願いもいたしました。新聞にも記事を掲載していただきました。

が、小池都知事の「断捨離後押し」もあって、結果的に昨年春は過去最大級の回収量となってしまいました。

5月以降 マレーシアのロックダウンは感染者の増減を反映させながら各州単位で規制がかかったり解かれたりを繰り返しております。

2021年現在も、工場は動かしておりますが、活動制限はかけられた状態、小売り店舗はほぼ全店休業、ひとたび感染者が出れば2週間は工場を止めることになるそうで、ヒヤヒヤしながらも動かしている状況です。

もう一つ、昨年11月頃からコロナの影響でコンテナの不足が深刻になっています。運賃は高騰し、輸出に依存している繊維リサイクルはここでも苦しい状況に陥っており、国内での古着の価格は「底値」とも言えるレベルまで暴落したまま横ばいで推移しています。

レジ袋有料化の影響は？ 店舗へのアンケート調査報告

吉川マイバッグの会 代表 田中陽子

吉川マイバッグの会の紹介
平成14年（2002年）発足

目 的

買物の際に買物袋を利用することにより、レジ袋を受け取らない、デユース運動を推進し、ごみの発生抑制や環境保全に繋げる行動に結びつけることを目的として結成。

活動内容

- ・吉川市内のスーパーなどの店舗や公共施設、イベント会場や環境展に、マイバッグ普及のための啓発パネルを掲示。
- ・子ども向けに手作り紙芝居を作成。年2回、市内2箇所の子育てサロンで、お母さんたちを対象に、ごみ分別の出前講座を開催。
- ・子どもを対象としたイベントに参加し「マイバッグ絵付け」体験講座を開催。
- ・廃棄された傘を回収し、ミシンで作る「廃傘を使ってオリジナルマイバッグを作ろう」体験講座を開催。
- ・小学4年生の総合の授業で環境講座の講師を受けもち「3R」について講義する。
- ・年2回の吉川市内スーパーでのマイバッグ利用（持参率）状況調査を2019年まで実施。
持参率は、毎年3割前後という調査結果。
- ・マイバッグ利用（持参率）状況調査と同時に、買い物客にもアンケート調査を実施。

税理士法人 T&M ソリューション

毎月第2水曜日は「税の無料相談日」お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

レジ袋を必要と回答した人は、一人暮らし世帯や、紙おむつを利用して居る世帯がゴミ袋としてレジ袋を利用していることがわかった。

レジ袋が有料化になれば、マイバッグを持参すると答えた人が多かった。

2020年7月にレジ袋有料化に関するアンケート調査を10月に実施

吉川市内16店舗（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）にアンケートを依頼し、11店舗の回答を得る。

アンケート結果

1、レジ袋の値段設定

サイズによって2円～10円で設定されているところが多い。

2、レジ袋の月別使用枚数

店舗により、レジ袋の使用枚数を数えているところと、数えていないところがあった。数えていない店舗は、レジ袋代金（月額）を記載していた。

3、マイバッグの持参率は上がっているか

マイバッグの持参率は上がっている。男性のマイバッグ利用者が増えた。

4、レジ袋が有料化されたことで影響があったと感じたことの回答

レジ袋有料化を行っている店舗の買物カゴの盗難や万引き検挙件数が増加している。作荷台に設置してあるロールのビニール袋を必要以上に持って帰る人が増えた。

2020年7月レジ袋が有料化。店舗はレジ袋を有料にするか、対象外の袋を使うかを選択。

1. 厚さ0.05mm以上の袋

（厚みと繰り返し使う事を推奨する旨の記載もしくは記号の表示が必要）

2. バイオマス素材の配合率が25%以上の袋

（第三者により認定または認証されたことを示す記載、もしくは記号の表示が必要）

3. 海洋生分解素材の配合率100%の袋

（第三者により認定または認証されたことを示す記載、もしくは記号の表示が必要）

最後に、ゴミ箱の内袋として、今までレジ袋を使用していた人向けに、新聞紙、雑紙（チラシ・広告）で作るゴミ袋を映像で紹介しました。

今後は脱プラスチック（マイクロプラスチック）の取り組みを検討していく。



一般社団法人 繊維リサイクル協会

<http://tera-jpn.or.jp/index.html>

創業
昭和3年 **珍来**

www.chinrai.co.jp

「子ども食堂」から「フードパントリー」へ？

資源循環委員会 原田 史

子ども食堂は、日本の子どもの7人に1人が貧困状態にあるという現在、①子どもやその親、および、地域の人々に対し、無料又は安く食事や団らんを提供する、②地域交流の拠点を提供する場である。

2012年から出現し、この10年間でTV等を通じて知られるようになった。現在、5,000箇所余りある。小学校区に1つあるのが理想とされるが、どの県もその域にはたっていない。県により、60%から7%まで違いがある。ちなみに埼玉県内には187箇所、さいたま市には25箇所ある（約25%）。

去年初めからのコロナ禍が子ども食堂の運営を危うくした。「食堂」の代わりに「フードパントリー」に移行した所も多い。食物やお弁当の配布、販売を行う。この動きに地方自治体や企業の支援が増えてきている。日本ではフードロス（食品ロス）が年間640万トンも出ていて、その削減が必要である。フードバンクやフードドライブが盛んに行われつつあり、これらが子ども食堂と結びつく例も多い。

私は、たまたま2人の知り合いが紹介してくれたそれぞれの地元の子ども食堂を、まちの規模や人口などもほぼ同じであることから、比較してみたいと思った。

国立市（東京都）

人口： 約76,460人
面積： 8.15 m²
世帯数： 38,669世帯
子ども食堂の数： 8箇所
国立市が一覧表を作成・配布
子ども食堂への補助金がある

志木市（埼玉県）

約76,445人
9.05 m²
35,205世帯
2箇所（1箇所は毎日開催のNPO）
社会福祉協議会「みんなでご飯」（月1回）
夏には平日にこどもランチルームを開催

行政は民間の活動を側面援助

国立市

“おいしい時間”

月1回開催宗教団体施設を借りて
今はお弁当配布

「こども食堂の横綱」を行政が補完？

志木市

“まいにちこども食堂”

NPO法人、月～土開催
店舗を借りて常時、使用
今はお弁当配布と土曜日のそばを提供



省エネにつながる菜園づくり

～陽当りをコントロールして 手作りパッシブソーラーハウス～

消費生活アドバイザー 大前万寿美

コロナ渦でエアコンをつけたまま換気 電気需要急増に注意！

2021年1月初旬の寒波の際、「ブラックアウトの危険があった。原因は需要の急増、天然ガスのストック不足、太陽光発電不足」と報じられたが、実際には太陽光発電は、1月2月通常の2割増しの発電量があり電力不足に貢献している。電力自由化のもと、大手電力会社が需要と供給の見通しを誤ったことが原因とみられる。

菅総理の「2050年脱炭素社会の実現」宣言

問題点として、2050年の目標を自然エネルギー5～6割、残り約4割を原発と石炭を含む火力発電としていること。気候変動対策はこの10年が正念場と言われているにも関わらず、いまだ石炭発電に頼る日本に危機感はない。のんびりしている場合ではないと、若者たちがATO④NEN未来を守れるのは今という運動を始めている。私たちも、ともに行動できれば良いと思う。

☆夏冬エアコンを使わない生活を目指して☆

○個人でできる緑化による省エネ

舗装道路やコンクリートやタイル部分の影響を少なくする工夫

- ・季節ごとの太陽光の動きを観察し、適切な植樹、剪定を行い、夏の日陰、冬の陽当りを確保。
- ・鉢やプランターを活用し、狭い庭でも含水率の高い土の面積を増やす。

カーポートのコンクリートと鉄の塊への対策

- ・コンクリートをべったりとはった敷地と車のような約2tの大きな鉄の塊は、蓄熱により夏の屋内の暑さの原因になっている。ゴーヤやカボチャなどのつる性植物で、カーポートの側面、屋根部分を取り囲むと、隣接している家屋が涼しくなる。

○夏に向けての準備

2020年はゴールデンウィークの時期から夏日の状態？

- ・さいたまの庭でのゴーヤの成長は6月以降のため、長芋、菊芋など成長が早めの植物も植えるとよい。
- ・野菜は、朝日の当たる場所に植えると良い。プランターであれば、移動ができる。
- ・注意事項として、カーポートの亚克力板は、古くなると割れやすいのでカボチャの実は枠の上に載るよう蔓を這わせる。



読売旅行

読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも

☎03-6859-4343 FAX: 03-6859-4433

○庭に3坪の畑をつくった効果

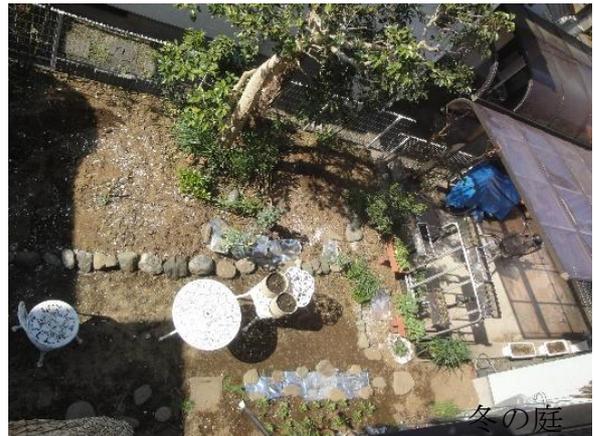
- ・気温室温ともに高い夏だったが、エアコンに頼ることなく、2019年8月と比較すると電力を12%削減でき、目標達成。
- ・トマトは虫がつきにくく、7～8月に約100個収穫。ゴーヤは植えた場所により収穫時期がずれたため、6～9月までに約100個。茗荷も朝夕の水やりで収穫量、時期共に例年より伸びた。カボチャは、カーポートの上で大きく育てることができた。何より日陰が増え、6㎡ほど水の使用量は増えたが、通常の夏より、涼しく過ごせた。畑の含水量は大きく、打ち水などより涼しさを維持できることが体感できた。
- ・虫よけにはラベンダーの剪定枝をマルチ代わりに使用し、ある程度効果があった。



夏の庭

○冬の準備

- ・家屋の陽当りを悪くする大木を剪定。
- ・剪定枝は、庭に深さ30cm程度の穴を掘り、すべて埋め、20cm程度土を盛る。
- ・低温で発芽しにくい種は、2階の日当たりのよい室内で管理。10cmくらいに成長してから庭に植え替える。
- ・虫よけと日光拡散を兼ねて、野菜の根元やテラス周辺にアルミシートを広く敷く。
(アルミの容器包装を再利用)



冬の庭

○樹木剪定とアルミシートの効果 ～手作りパッシブソーラーハウス！～

- ・エアコンは一度も使用せず、こたつなどの部分暖房のみで過ごし、電力を2020年1月比17.5%の削減で目標達成。
- ・東側の大木を整理したため、家屋に朝日の当たる時間が増え、1度弱ほど室温が上がった。
- ・窓辺に置いたプランターは、バーミキュライトの効果で夕方になると室温より温度が高くなり、ガラス窓が少し結露する現象が起きた。若干の保温と湿度供給に効果がみられる。
- ・庭や室内にアルミシートを置くことで、日光の取り込みに成功。珪藻土と漆喰の壁に蓄熱でき、また、雪が積もった日のように室内全体が明るくなった。



○ソーラーガーデンライトの活用 ～屋根にソーラーパネルを設置できなくても～
様々なライトが販売されているので、災害時用にもと考え、大きめのソーラーガーデンライトを用意し、常夜灯ととして使用している。充電池の交換で長く使える。

今後の課題

- ・山茶花の垣根の一部をヒメウコギに変え、来るべき食糧難に準備を整える。食せる垣根は魅力的。2mにも成長する落葉樹なので、夏は日陰をつくり、冬は日当たりが確保できそうである。
- ・車を処分し、カーポートを畑にする？もしくは、電気自動車を購入し、駐車場の屋根にソーラー発電を載せる。
- ・冬は、室温が10度程度高くなる2階に居間を移動させ、パッシブソーラーハウスを実現する。

令和3年度 通常総会のお知らせ



日時：令和3年5月13日（木）午後2時～4時予定

記念講演テーマ「プラごみゼロ」を目指して！（仮称）

講師 埼玉県環境部資源循環推進課

総会のご案内、会費納入のご案内等は4月中にご郵送いたします。

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎048-963-6055 不動産・商業登記全般

編集後記：今年はコロナのため2月から3月13日に順延になった2021年NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 交流集会のご報告です。“2030年までに達成すべき17の目標”を掲げているSDGs（持続可能な開発目標）を達成するためにもまずはできることからですが、交流会ではいろいろな取り組みが紹介されました。

まだまだ認知はイマイチな感じのSDGsですが、コロナに負けずに続けましょう。 轟 涼

資源循環コーナー

第9次埼玉県廃棄物処理基本計画の策定について

埼玉県では、廃棄物を取り巻く様々な社会情勢の変化や新たな課題に対応するとともに、循環型社会の形成に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するため、「第9次埼玉県廃棄物処理基本計画」を策定しました。

1 計画の位置づけ

本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の5の規定に基づき、国の基本方針に則して都道府県が策定する「廃棄物処理基本計画」です。

食品ロスの削減の推進に係る基本的な方向、内容及び重要事項については、食品ロス削減推進法第12条の規定に基づいて県が定める「食品ロス削減推進計画」として位置付けるものです。

2 計画期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

3 目指すべき将来像

県、市町村、県民及び事業者など全てのステークホルダーのパートナーシップによる「持続可能で環境にやさしい循環型社会」の実現

4 第9次埼玉県廃棄物処理基本計画の目標値

項目	H30	R7
	最新値	目標値
家庭系ごみ排出量(g/人・日)	524	440
事業系一般廃棄物の排出量(千t)	535	451
一般廃棄物最終処分量(g/人・日)	34	28
(新)一般廃棄物再生利用率(%)	23.9	33.6
産業廃棄物最終処分量(千t)	159	150
(新)食品ロス量(千t)	266	240

一般廃棄物再生利用率と食品ロス量を新たに目標として設定しています。

「5 施策体系について」「6 重要課題について」は、エコ・リサイクル連絡会 HP に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。どうぞよろしくお願いたします。